



一緒にやろうや!

令和3年2月号

Vol.14

まちづくり☆通信



高知市では、つながりのある地域づくりを目指して、まちづくりに関する情報や地域の取り組みの様子をお届けするとともに、市民の皆さんと一緒に協働のまちづくりを考えていくために、この広報紙を発行しています。まちづくりにちょっと役立つ情報も掲載していますので、ぜひご覧ください。

プラス

江ノ口連携協議会（愛称：江ノ口 plus）が設立されました!

令和2年10月19日、江ノ口小学校区を活動区域とする「江ノ口連携協議会」が設立されました。

江ノ口小学校区内の15団体が会員となり、『地域が築き上げてきた住民同士の助け合い・支え合いを継続させるとともに互いに地域の情報を共有し、連携・協力して地域課題の解決等に向けて取り組み、住みよい豊かな地域づくりを目指すこと』を目的として活動していきます。

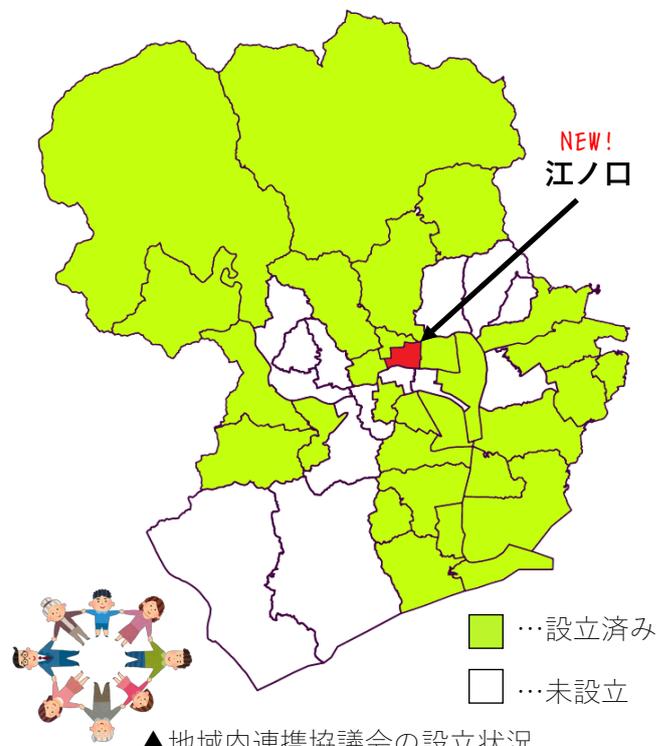


地域内連携協議会とは？

高知市では、平成24年度から、「地域コミュニティの再構築事業」の取組として、少子高齢化や人口減少による、活動の担い手不足やつながりの希薄化などの様々な地域課題を、地域内での連携・協力による解決や活性化を目指すための仕組みづくりとして、「地域内連携協議会」の設立の提案を行っております。

地域課題の把握を目的としたアンケートの実施、地区カレンダーの作成・配布、各種イベントの開催など、地域内連携協議会に所属する各種団体が連携し、様々な活動に取り組んでいます。

地域内連携協議会について
詳しくは右のQRコードから
ご覧ください!



▲地域内連携協議会の設立状況

(小学校・義務教育学校の設立校区)



▲江ノ口連携協議会設立会議の様子。

＜高知市が認定している地域内連携協議会＞

令和3年2月1日現在

29 小学校区 / 41 小学区中



地域内連携協議会 全体交流会を開催しました！

～地域活動実践ゼミナール（第2期）第12回講座プレセミナーとの合同開催～

令和2年12月5日（土）、初の試みとして、オンライン会議（ビデオ会議ツール「Zoom」）を取り入れた交流会を開催しました。

今回は「コロナ禍における地域運営」をテーマに、地域内連携協議会の取組事例の紹介や講師の川北秀人氏（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）による講演を行いました。

地域内連携協議会の関係者や地域活動実践ゼミナールの受講生などにもご参加いただき、当日は総勢70名（オンラインを含む）の参加がありました。今後の地域運営について共に学び、共通イメージを持つことができました。



オンライン会議を取り入れ、開催しました！

▲写真撮影時のみ、一時的にマスクを外していただいております。

事例紹介

地域の課題解決に向け、中長期的視点で取り組む特徴的な事例を紹介しました！

潮江南地域連合会（通称：みなみ連合）

●事業（テーマ）型の活動

地域の課題解決に向け、事業テーマごとに連携して、活動を企画・実施。

●学校を核とした地域運営

地域と学校が一体となって、地域運営に取り組み、若い世代が主体的に取り組むことができる、世代循環をスムーズにする仕組み。



みなみ食堂



防災訓練

▲“子どもたちの生活支援”事業より

▲“地域防災への取り組み”事業より

下知地域内連携協議会

●「事務局部会」に次世代メンバー（20～40代）

世代交代のきっかけづくりとして部会制を活用。次世代メンバーが立案企画し、経験豊富な役員方からアドバイスをもらうことで議論、交流の促進また、SNS等を活用した会議方法の工夫。

●企業の応援・アートを活かした独自の連携活動

下知の企業や藁工ミュージアム等のアートの観点を活かした応援による、“下知らしさ”を感じる、様々な人がつながるきっかけづくり。



事務局部会



ラジオ体操

▲“交流”部会より

川北秀人氏による講演

高知市内の地区ごとの人口構成や高齢化率、高齢者独居率などを整理・分析したデータや他県の事例をご紹介いただき、これからの日本社会は「人口より課題が増える時代である」ことから住民自治の必要性や地域運営の手法について、ご講演いただきました。

また、講演後には、Zoomの活用紹介として、チャット機能を用いて参加者との質疑応答も行われました。

チャレンジにやさしく！
課題先進地から
課題解決先進地へ！



川北秀人氏にオンラインでご登壇いただきました！

講演のようす



▲新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございます。

離れていても「つながる」ことができました！ オンライン参加一同より





第六地域 コミュニティ計画会議を開催しました！

第六地域（第六小学校区）では、地域内連携協議会である「第六ふれあいネットワークの会」が主体となって、「自分たちのまちを自分たちでよくしていく」をコンセプトとした「コミュニティ計画」づくりに取り組んでいます。

このコミュニティ計画策定に必要な、地域の皆様の意見を聞くための会議「第六地域コミュニティ計画会議」を令和2年12月4日（金）に開催し、第六小学校区の地図や掲示板の場所を確認しながら、「こんなことができたら…」「こんなことしたい!!」など、自由に意見を出し合いました。

第六地域にお住まいの方々が地域の未来について話し合う場として、今後も第六地域コミュニティ計画会議を開催し、出された意見を計画づくりに反映させていきます。

参加者の

こえ
「声」



困っていること

- ・公園のゴミ
- ・歩道が狭い
- ・祭りの周知方法。大人の人に伝える方法がない
- ・掲示板に何か貼っていても見る人が少ない

やってみたいこと

- ・子ども主体でなく、地域主体の行事。
- ・掲示板を電飾する。
- ・地域に特色のある公園を作りたい。
- ・マンションの人にも行事に参加してもらえたら…。

など

コミュニティ計画 会議のようす

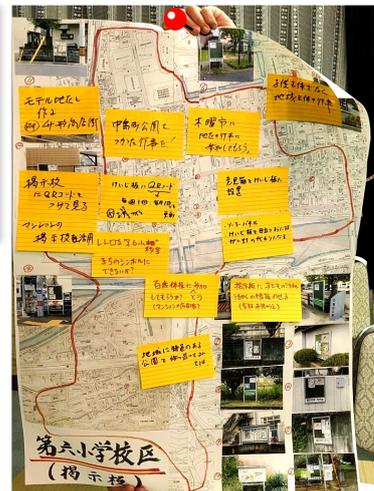


当日は会員・市職員
合わせて21名の
参加がありました！

第六地域への想いを
自由に話し合ったよ！



みんなで描こう
明るい未来♪





未来塾農園で芋ほりイベントを開催しました！

高知市まちづくり未来塾では、長浜に畑を借り、農園部を結成して野菜を作っています。

令和2年11月1日（日）、感染防止対策を徹底しつつ、芋ほりイベントを開催しました。横浜新町まちづくり市民会議と共催のイベントで、横浜新町小学校の親子10組を招いて実施しました。

猛暑の影響からか、例年よりお芋の甘さが少し足りなかったようでしたが、たくさんのお芋が掘れたので、子どもたちは大変喜んでいました。



大きなお芋がたくさん採れたよ〜♪



「こうちこどもファンド」で活動してみませんか？

こうちこどもファンドは、「子どもたちのアイデアで、住んでいる地域等をより魅力的で住みよいまちにするための活動」「子どもたちの活動によって、誰かが喜んでくれる活動」を支援するための制度です。

活動に興味を持たれた方は、お気軽に事務局（地域コミュニティ推進課）までお問い合わせください。

応募条件

- ① 18歳以下のメンバーが3人以上
 - ② 複数世帯の子ども（2世帯以上）で構成
 - ③ サポートしてくれる大人が2人以上
- ※上記すべての要件を満たす必要があります。

助成金額

1事業あたり 20 万円まで

ポイント

制度の特徴

提案・審査・活動の全てにおいて「子どもが主体」となる、全国的にも珍しい制度です。

美化



防災



交流



食



こどもファンドの情報をフェイスブックで発信しています！ぜひ「いいね」をお願いします！

メールでのお問い合わせはこちら→kodomofund@city.kochi.lg.jp



まちづくり“一緒にやろうや！”通信（発行：令和3年2月）

高知市市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43 たかじょう庁舎2階

T E L : 088-823-9080 F A X : 088-824-9794

E-Mail : kc-102000@city.kochi.lg.jp

HPアドレス : <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/>



←携帯・スマートフォンからは、こちらのQRコードをご利用いただくとスムーズにアクセスいただけます。

